

## CDP 認定再エネプロバイダーとして企業の脱炭素を推進

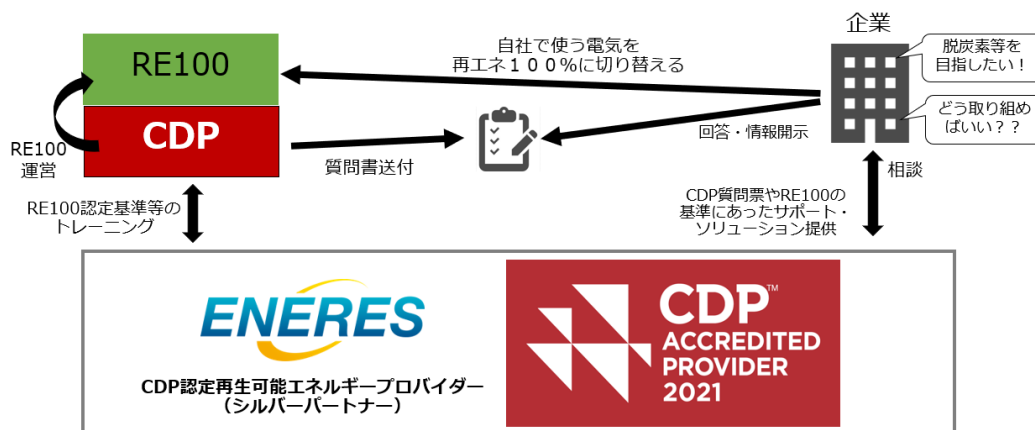
### RE100 や CDP 質問票に沿った基準や具体策をアドバイス

株式会社エナリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:都築実宏、以下、エナリス)はこのたび、企業の気候変動対策に関する情報開示に取り組む国際 NPO である CDP<sup>※1</sup>(本拠地:英ロンドン)により、日本における『CDP 認定再生可能エネルギープロバイダー』(以下、CDP 認定再エネプロバイダー)に認定されました。同プロバイダーは、国内では一定の基準をクリアした企業(3社が上限)のみに認められるものです。

CDP は毎年、大手企業や自治体に対して気候変動問題への取り組み方針や対策等に関する質問票を送付し、その評価結果を公表しています。CDP 評価は、ESG 投資家の投資判断材料として活用されるため、企業も CDP 評価を重視しています。また、CDP は事業を 100%再生可能エネルギー(以下、再エネ)で賄うことを目指す RE100<sup>※2</sup>の運営も行っています。こうした CDP 質問票や RE100 への企業等の取り組みをサポートし、企業に適切なアドバイスを行うのが CDP 認定再エネプロバイダーです。

日本が温室効果ガスの排出量を 2050 年に実質ゼロとすることを目指す中、脱炭素化への貢献は、企業が抱える重要な課題の一つとなっています。エナリスは、このたびの認定に基づき企業等に対してアドバイスを提供するほか、使用する電気の再エネ切替や省エネルギーサービス、企業単位・グループ単位で脱炭素に取り組むための具体的なソリューション等を提案し、企業の脱炭素化をサポートしてまいります。

#### <CDP 認定再エネプロバイダーの役割>



#### ◆CDP 認定再エネプロバイダーとしての活動概要

認定(区分)	CDP 認定再生可能エネルギープロバイダー (シルバーパートナー)
活動エリア	日本
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆CDP 質問票への回答に関するアドバイス</li> <li>◆脱炭素推進についてのエネルギー関連アドバイス</li> </ul>

	<p>◆<b>企業の脱炭素推進をサポートするソリューションの提供</b></p> <p>-<b>RE100 メニュー</b>：FIT 電気を含む再エネ供給サービス。CO2 排出量ゼロを目的とした「ノンカーボンメニュー」「カーボンライトメニュー」も提供</p> <p>-<b>小売電気事業立上支援サービス</b>：グループ全体で脱炭素に取り組みたい企業に適したサービス。自グループ内への再エネ調達・販売を行う小売電気事業立ち上げと業務代行を提供</p> <p>-<b>TPO サービス</b>：初期投資 0 円で太陽光発電設備（PV）と蓄電池導入を実現するサービス</p> <p>-<b>VPP プラットフォームサービス</b>：分散電源を自社の電源として活用したい新電力やアグリゲーター向けに、分散電源制御プラットフォームを提供するサービス</p> <p>-<b>各種環境価値証書の取り扱い</b>：お客様のニーズに合わせた環境価値証書（グリーン電力証書/J-クレジット制度/非化石証書）を提供 ほか</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ◆認定の背景

エネルギーマネージメント事業を展開するエナリスは、2004 年の創業以来培ってきた新電力支援のノウハウを基盤に、エネルギーの効率的な利用を支える各種サービスを提供してきました。脱炭素に取り組む企業のお客さまには、実質再生可能エネルギー100%を供給する「RE100 メニュー」や、グループ全体の再エネ調達を担う「小売電力事業立ち上げ支援サービス」等を提供しています。2017 年からはブロックチェーン技術を活用し、再エネが生み出す「環境価値」の計測・追跡実証に取り組み、再エネ価値を高める活動を推進。2020 年には、太陽光発電設備や蓄電池を初期費用ゼロで導入できる「TPO サービス」や、分散電源を一斉制御して自社事業への活用を可能にする「VPP プラットフォームサービス」の営業を開始しています。さらに、国内 3 つの環境価値証書（グリーン電力証書/J-クレジット制度/非化石証書）のすべてを取り扱う資格を有しています。

こうした実績への評価と、当社のお客さまであり RE100 認定企業 3 社からのご推薦により、日本で 3 社のみが認められる CDP 認定再エネプロバイダーに認定されました。

CDP のパートナーシップ・グローバルヘッドであるポール・ロビンス様より、次のようにコメントをいただきました。

*CDP Partnerships is proud to welcome Eneres as a silver accredited renewable energy provider in Japan. Interest in procuring renewable energy is growing among companies in Japan. We are looking forward to working with Eneres to support these companies in fulfilling their clean energy ambitions.*

—Paul Robins, Global Head of Partnerships, CDP

エナリスは今後も、多様なパートナーと連携し、お客様の課題に寄り添い信頼をいただきながら、人とエネルギーの新しい関係を創造し豊かな未来社会を実現してまいります。

※ 1 : CDP・CDP 質問票 英国ロンドンに拠点を置く国際 NGO。企業等の温室効果ガスの削減、水資源、森林伐採等への対応を支援するため、世界 5 0 か国で活動を展開している。CDP は、事業を 100% 再エネで賄うことを目指す RE100 を運営する団体（クライメイト・グループ）とパートナーシップを組み、再エネを推進している。さらに、CDP は毎年、大手企業に対して気候変動問題への取り組みに関する



方針や対策等に関する質問票を送付し、世界 9600 社以上から回答を得て、企業を評価し、公表している。ESG 投資家は CDP の評価を投資の判断材料として活用しているとされるため、多くの上場企業が CDP の評価を重視。また、CDP の質問書は RE100 認定要件の進捗報告にも活用されている。こうした理由から、企業は CDP の指標を理解し、適切に気候変動問題に取り組み、情報を開示する必要がある。

※ 2 : RE100 Renewable Electricity100%での調達を宣言する大企業向けのイニシアティブ。温室効果ガス排出量の削減や脱炭素を目指す環境団体 The Climate Group（拠点：ロンドン）と CDP が協働で 2014 年に発足させた国際イニシアティブ。RE100 加盟企業は使用電力の 100%を再エネに切り替えることを目標としている。2021 年 1 月時点、日本で 46 社が加盟している。

**エナリスの会社概要** [www.eneres.co.jp](http://www.eneres.co.jp)

新電力の需給管理業務代行を創業事業として 2004 年 12 月に設立。需要予測や気象予報士による発電予測などのノウハウを活かしながら、法人電力ユーザー向けに最適な電力を提案する「エネルギーエージェントサービス」などに事業を拡大。再エネの“地産地消”や VPP、ブロックチェーンなどを活用したイノベーションにも積極的に取り組む。2018 年 12 月 27 日より、KDDI 株式会社の子会社、電源開発株式会社（Jパワー）の関係会社。

《企業や行政等の法人からのお問い合わせ先》

株式会社エナリス CDP 担当

E-mail : [cdp\\_provider@eneres.co.jp](mailto:cdp_provider@eneres.co.jp)